

愛知県立芸術大学

音楽学部

学校推薦型選抜

総合型選抜

学生募集要項

令和

6

年度入学用

音楽学部 学校推薦型選抜 作曲専攻(音楽学) / 声楽専攻 / 器楽専攻(弦楽器・管打楽器)

音楽学部 総合型選抜 作曲専攻(作曲)

出願期間：令和5年10月27日～令和5年11月2日 締切日消印有効

試験日程：令和5年11月25日、26日

合格発表：書類選考/令和5年11月16日 午前11時

本選考/令和5年12月4日 午前11時

入学手続：令和5年12月12日～令和5年12月19日 締切日消印有効

## 愛知県立芸術大学 音楽学部

### ■入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

音楽学部では音楽に対する感性が豊かで表現意欲が旺盛な人や、将来国内はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動を目指すような、明確な目的意識と強い気概をもった人を求めています。

#### ◆作曲専攻（作曲）

求める人物像

- ・創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人
- ・感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人
- ・音楽の創作において必要な基礎的能力を身に付けている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基本的かつ十分な作曲能力。特に楽典に基づいた正しい楽譜の読み書きができること、自己の表現したいものを適切な技術で書き表すことができること、和声、対位法等の理論をある程度習得していること
- ・音楽の基礎的能力（楽曲分析、ソルフェージュ、ピアノ実技等）
- ・西洋音楽史の素養、特にバロックから近代までの基本的な楽曲を網羅的に知っていること
- ・基礎的な学力、語学力（英語）

入学試験の基本的な方針・考え方

##### 【総合型選抜】

- ・提出物による審査（作品、音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、口述試験の結果を総合して合否を判定します。

#### ◆作曲専攻（音楽学）

求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心をもっている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性をもっている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力
- ・論理的思考力および表現力

入学試験の基本的な方針・考え方

##### 【学校推薦型選抜】

- ・音楽学の基礎的能力（英語力を試す出題を含む）、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して合否を判定します。

## ◆声楽専攻

### 求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力…学ぶ上で大切にして欲しいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力して下さい。
- 音楽の基礎的能力…基礎的な読譜力と、ピアノの演奏能力を身につけてきて下さい。また音楽についての知識を積極的に吸収するよう心がけて下さい。
- 基礎的な学力、語学力…歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけて下さい。

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【学校推薦型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験の結果を総合して合否を判定します。

## ◆器楽専攻（弦楽器）

### 求める人物像

- ・演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・より高い技術やより深い音楽性を貪欲に求める人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力
  - ・音に対する感性を大切にした勉強
  - ・感じたことを表現しようとする姿勢
  - ・音階・練習曲等、基礎技術の学習
  - ・様々な時代様式の作品の勉強
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- 基礎的な学力、語学力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【学校推薦型選抜】

- ・専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して合否を判定します。

## ◆器楽専攻（管打楽器）

### 求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、国際的な視野を持っている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に親しみ、知識を広げておくこと
- ・高いレベルの演奏表現能力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【学校推薦型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果を総合して合否を判定します。

## ■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学生の個性を最大限に伸ばすため、専門実技授業では4年間徹底した個人指導による教育を行います。1、2年次では特に基礎教育を重視し、3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うための様々な実践的授業が用意されています。

実技系の授業等とあわせ、音楽理論、語学、一般教養等、自由に選択可能な科目を幅広く学ぶことも出来ます。

## ■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

音楽学部では国際的視野に立った芸術・研究活動の展開を目指すような、明確な目的意識と強い気概、実力を伴った人間性豊かな人材の育成を目標としています。

卒業までに、確固とした個性と豊かな感性を養い、音楽における高度な専門実技能力と深い知識、そして幅広い教養を身につけることが求められます。

所定の期間在学し、最終年次の「卒業作品」、「卒業論文」又は「卒業演奏」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

## 目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願期間	3
4. 出願方法	3
5. 出願書類	4
・各専攻（コース）別出願書類等一覧	5
・各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領	7
6. 出願・受験上の諸注意	8
7. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	8
8. 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先	8
9. 選抜方法	
(1) 各専攻（コース）別選抜方法	9
(2) 評価基準	10
(3) 点数配分	11
10. 試験日程及び合格発表	12
11. 学校推薦型選抜・総合型選抜に不合格になった者の一般選抜への再出願について	12
12. 入学手続	13
13. 授業料	13
14. 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について	13
15. 入試結果の閲覧	14
16. 個人情報の取扱いについて	14
<b>■実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲</b>	15
<b>■令和5年度音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜実施状況</b>	22
<b>■令和5年度音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜試験問題</b>	22
<b>■令和7年度入試変更点の予告</b>	27
<b>■出願書類関係・様式集</b>	
・入学願書等記入上の注意	29
・推薦書	
・志願理由書	
・音楽活動記録書	
・小論文表紙（音楽学志願者用）	
・声楽曲目提出用紙／提出楽譜表紙添付票／声楽提出楽譜についての注意	
・弦楽器提出用紙／管打楽器提出用紙	
・入学検定料振込依頼書	

令和6年度愛知県立芸術大学音楽学部  
学校推薦型選抜・総合型選抜学生募集要項

**1 募集人員**

**I. 学校推薦型選抜**

学部	学科	専攻（コース）		入学定員	募集人員	備 考
音楽学部	音楽科	作曲	音楽学	2	若干名	入学定員2名の中に含まれます。
		声 楽		30	若干名	入学定員30名の中に含まれます。 ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス
		器楽	弦楽器	15	若干名	入学定員15名の中に含まれます。 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
			管打楽器	20	若干名	入学定員20名の中に含まれます。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット（バスーン）、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、パーカッション、マリмба

**II. 総合型選抜**

学部	学科	専攻（コース）		入学定員	募集人員	備 考
音楽学部	音楽科	作曲	作曲	8	若干名	入学定員8名の中に含まれます。

**2 出 願 資 格**

**I. 学校推薦型選抜（作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース、管打楽器コース）**

以下の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ③ 上記①②以外の学校を令和6年3月卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、令和6年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格③により出願しようとする者は、令和5年8月18日（金）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者  
各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)、声楽専攻は、それぞれの専攻(コース)につき1名までとします。器楽専攻(弦楽器)においては、ヴァイオリンで1名、それ以外(ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ)で1名まで、器楽専攻(管打楽器)においては、5名まで推薦できます。
- (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

## II. 総合型選抜（作曲専攻作曲コース）

令和6年3月31日現在において35歳以下の者で、以下の(1)、(2)の両方に該当するもの。

### (1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格⑧により出願しようとする者は、令和5年8月18日（金）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- ### (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

## 3 出 願 期 間

令和5年10月27日（金）から11月2日（木）まで 締切日消印有効

※ただし、日本国外から出願する場合は締切日午後5時必着とします。

## 4 出 願 方 法

- (1) 本紙4、5ページ記載の出願書類全てを同封し、「学校推薦型選抜(音楽)入学願書在中（〇〇専攻〇〇コース※声楽専攻・器楽専攻は、声種・楽器も記載）」または「総合型選抜(音楽)入学願書在中（作曲専攻作曲コース）」と朱書きし、簡易書留速達郵便で郵送してください。普通郵便及び直接持参は受理しません。
- (2) 出願の際には、市販の封筒をご利用ください。
- (3) 送付先  
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114 愛知県立芸術大学 入試課
- (4) 出願書類を高等学校等が発送する場合においても、出願期間や出願書類は志願者本人が責任を持って確認し、遅延や不備がないよう注意してください。

## 5 出 願 書 類

○印は、募集要項に綴込みの本学所定様式です。

書 類 等	摘 要
入学願書 受験票 入学検定料納付証 明書貼付欄 受験者写真票	○ 本紙 29 ページ【入学願書等記入上の注意】をよく読んで、必要事項を記入してください。 写真票には、出願前 3 ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身・脱帽・縦 4 cm×横 3 cm、裏面に氏名・志望専攻及びコースを記入。）を所定の位置に貼り付けてください。
入学検定料 17,000 円	○ 1 入学検定料振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。 2 「ご依頼人」欄は、受験者本人の氏名を記入してください。 3 入学検定料は、振込依頼書により令和 5 年 10 月 16 日（月）以降に必ず <b>金融機関の窓口</b> から送金してください。ゆうちょ銀行及び ATM からは送金しないでください。 4 振込手数料は、各自ご負担ください。 5 検定料納付証明書は入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。 6 願書受理後は納付された入学検定料は返還しません。
調査書	1 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 2 廃校及び被災等により調査書の作成ができないときは、これに代わるべき機関による適宜の証明で調査書に代えることができます。 3 【 <b>総合型選抜のみ</b> 】指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。 ①卒業証明書 ②成績証明書または単位修得証明書等（発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。） 4 【 <b>総合型選抜のみ</b> 】高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者については、その試験の合格成績証明書または合格見込成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書または成績証明書（単位修得証明書）も提出してください。 5 【 <b>総合型選抜のみ</b> 】私費外国人留学生については、次の①②を提出してください。①②とも日本語訳を添付してください。 ①小学校入学から最終出身校までの学歴を記載したもの ②最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書 (注) 調査書及び各種証明書は出願前 3 か月以内に取得したものを提出してください。また、調査書及び各種証明書に記載された氏名と現在の氏名とが異なる場合は、氏名変更の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
志願理由書	○ 本学を志願した理由を具体的に書いてください。（自書）
各専攻（コース） 別出願書類	本紙 5、6 ページ【各専攻（コース）別出願書類等一覧】をよく読んで提出してください。
音楽活動記録書	○ 現在までの音楽活動について、本紙 7 ページ【各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領】に従って詳細に書いてください。 ページ数が 2 ページを超える場合は、音楽活動記録書の 2 枚目をコピーして使用してください。
受験票送付用 封筒	○ 「受験票在中」と表示してある本学所定の長形 3 号封筒）志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し、 <b>344 円分の切手を貼付</b> してください。 （送付先住所は日本国内の住所に限ります。）
【 <b>作曲コース、声楽専攻、管打楽器コース</b> 】 書類選考可否通知 用封筒	書類選考可否通知の送付用として、レターパックプラス（520 円）を各自購入し、「お届け先」と「郵便番号」を記入の上、折りたたんで同封してください。 （長形 3 号の封筒を各自購入し、宛先欄に志願者の氏名、住所、郵便番号を記入の上、 <b>694 円分の切手を貼付</b> し「速達郵便」「簡易書留」と朱書してあるものでも受領します。） お届け先は、確実に本人に届く住所を記入してください。
【 <b>学校推薦型選抜</b> 】 推薦書	○ 1 出身学校長が作成し、厳封したものとします。（本要綱の様式に準じたものをパソコン等で利用して作成し、厳封したのものでもかまいません。） 2 各高校において推薦できる人数は、作曲専攻（音楽学）、声楽専攻は、それぞれの専攻（コース）につき 1 名までとします。器楽専攻（弦楽器）においては、ヴァイオリンで 1 名、それ以外（ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ）で 1 名まで、器楽専攻（管打楽器）においては、5 名まで推薦できます。



書 類 等	摘 要
<u>【学校推薦型選抜】</u> 学校長あて合否結果通知用封筒	レターパックプラス（520 円）を各自購入し、「お届け先」に出身学校の住所、学校名、学校長名を記入し、「郵便番号」に出身学校の郵便番号を記入の上、折りたたんで同封してください。 （長形 3 号の封筒を各自購入し、宛先欄に出身学校の郵便番号、住所、学校名、学校長名を明記し、 <b>694 円分の切手を貼付</b> し「速達郵便」「簡易書留」と朱書してあるものでも受領します。）

■各専攻（コース）別出願書類等一覧

専攻 コース	出 願 書 類 等
作 曲	A 提出作品 3 曲 楽譜またはCD(-R)やDVD(-R)等（USBメモリやSDカード等に記録した映像や音声データでも可）で提出する。 ただし、少なくとも 1 作品は五線譜による楽譜であること。 作品資料提出はコピー（A3 サイズ以下）とし、志願者の氏名、題名、制作年を明記、必要があれば補足説明等も付けてください。必ず本人の制作物であること。 （作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください。） B 返却返信用封筒 1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。 2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。 ゆうパック送り状（料金着払い用）に以下を記入してください。 <b>【お届け先】</b> に、志願者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入。 <b>【ご依頼主】</b> に、同上と記入。 <b>【品名】</b> に、楽譜と記入。 <b>【配達希望日】</b> は、記入しない。 3 上記のゆうパック送り状を返却用封筒に貼付してください。
	A 小論文（2000 字～4000 字程度） 本学で学び、研究したい事柄について、具体的に書いてください。 本募集要項に付されている提出用表紙を添付して提出してください。 B 音楽活動記録書の特記事項として外国語能力を示す公的証明書がある場合、そのコピーを提出してください。
声 楽	A 演奏曲目の提出 演奏曲目については別添「声楽曲目提出用紙」に必要事項を記入し、提出してください。 B 伴奏用楽譜の提出 伴奏用楽譜は 1 曲ごとに、声楽曲目提出用紙のページ下部に指定のとおり作成し、「提出楽譜表紙添付票」を貼って提出してください。
器 楽	A 曲目の提出（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス） P. 15「器楽専攻弦楽器コース 共通事項」を参照のうえ、別添「弦楽器提出用紙」に作曲者名、曲名を欧文で記入し、提出してください。 B 楽器借用希望の提出（コントラバス） 別添「弦楽器提出用紙」に楽器借用希望の有無を回答のうえ、提出してください。 * ハープに関しては「弦楽器提出用紙」の提出は不要です。
	A 曲目の提出（トロンボーン、バストロンボーン） P. 18「実技試験 課題曲」を参照のうえ、別添「管打楽器提出用紙」に選択した曲の番号と曲名を記入し、提出してください。 B 演奏を録画した動画※を提出して下さい。課題曲は以下のとおりです。 繰り返しなしで演奏してください。 ■フルート：P. 17「実技試験 課題曲 フルード(1)」より 1 曲を選択 ■オーボエ：G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass TWV40: 2-13 より No. 2, 3, 6 の中から 2 曲を選択 ■クラリネット：P. 17「実技試験 課題曲 クラリネット(1)」より 1 曲を選択 ■ファゴット：K. Stamitz: Konzert F-dur für Fagott und Orchester より（バスーン） 第 1 楽章（Sikorski版）カデンツァあり ■サクソフォーン：P. 17「実技試験 課題曲 サクソフォーン(2)」より 2 曲を選択 ■金管楽器：P. 18 各楽器「実技試験 課題曲」の(2)のみ ■パーカッション：P. 19「実技試験 課題曲 パーカッション」と同じ（全ての課題） ■マリンバ：P. 19、20「実技試験 課題曲 マリンバ」と同じ（全ての課題） ※動画の提出方法等詳細については次ページに記載しております。

専攻 コース	出 願 書 類 等
	<p>&lt;動画の提出方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD(-R)、USBメモリやSDカード等のメディアに記録した動画を提出してください。</li> <li>・動画はmp4形式（標準状態のWindows Media Player もしくはQuickTime Player で再生可能な形式）で作成してください。</li> <li>・提出前に、再生可能かどうか必ず確認してください。 ※再生確認時に何らかの支障が出た場合、再生画質を大きく下げない範囲で再エンコードさせていただきますことがあります。</li> <li>・本体に（DVDの場合はケースにも）、志願者氏名、楽器名、曲名を明記してください。</li> <li>・必ず本人の演奏を録画してください。</li> </ul> <p>&lt;動画について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラアングルは固定し、演奏者の顔が常に明確に映るようにしてください。</li> <li>・動画は本学受験のために収録したものとし、編集や加工は一切禁止します。また、提出後の差し替え・変更は認めません。</li> <li>・ビデオカメラに音声ボリュームを自動的に調節する機能がついている場合は、演奏の抑揚がなくなるため、使用しないようにしてください。また、音量が極端に小さい、あるいは大きい、また雑音が入ったりしないように収録してください。</li> <li>・映像と音声は同時に収録してください。映像と音声が一致していない場合や、映像や音声を加工したと判断した場合は、失格となる可能性があります。</li> <li>・課題曲はカメラを止めずに続けて演奏し、ひとつの動画に収録してください。</li> </ul> <p>&lt;その他注意事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画の作成方法に関する問い合わせには一切応じません。</li> <li>・提出されたものは、返却しません。</li> </ul>

## ■各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領

**【重要】** 記載事項の最終ページの「以上、記載事項に相違はありません。」の欄に、  
出願者ご本人の署名・捺印してください。

専攻（コース）		記 載 要 領
作曲	作曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲、和声、対位法、楽典、ソルフェージュ、楽器及び声楽等の学習歴について、使用した教科書、進度、課題実施の程度等を、師事した場合には、先生の氏名も含めて学習の概要が判るように記載してください。</li> <li>作曲作品について、タイトルと編成、演奏された場合には、演奏者名、演奏会場等を記載してください。</li> <li>音楽及び芸術関連の課外活動、コンピュータ音楽制作、演奏活動、受賞歴、出版、放送、留学経験、その他(音楽以外も含む)の特記事項がある場合にも積極的に記載してください。なお、複数メンバーによる活動の場合には、自身が担当した事項も記載してください。</li> </ul>
	音楽学	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽歴(演奏、創作等)とこれまでの音楽とのかかわりを詳細に記載してください。その他、外国語の学習歴、能力として特記事項(帰国子女等)があれば記載してください。英検(実用英語技能検定)、TOEICテスト、仏検(実用フランス語技能検定試験)、独検(ドイツ語技能検定試験)等の外国語の能力を示す公的証明書を所持している場合、そのコピーを添付してください。</li> </ul>
声 楽		<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに師事した声楽の先生の氏名を記載してください。</li> <li>学習した主な曲目を記載してください。</li> <li>受賞歴、演奏活動、部活動、またその他の特記事項がある場合には詳細に記載してください。</li> </ul>
器楽	弦楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験する楽器において これまでに師事した先生の氏名を記載してください。 今まで学習したエチュード、協奏曲、その他の楽曲も記載してください。</li> <li>受賞歴、留学経験、放送、特筆に値すると思われる演奏会等があれば、記載してください。(受験する楽器以外の事柄でも記載して構いません。)</li> </ul>
	管打楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに師事した先生の氏名を記載してください。</li> <li>学習した教則本、エチュード、楽曲を詳細に記載してください。</li> <li>受賞歴、資格、演奏活動、部活動等、特記事項がある場合には詳細に記載してください。</li> </ul>

## 記載事項の記入例

### 学習

- 和声「和声 理論と実習」第一巻を習得。(三ヶ峯太郎先生の下、全課題を実習)
- ピアノをヤマカワ音楽教室(グループレッスン)にて習う。令和〇年まで
- 作曲を三ヶ峯太郎先生に師事。令和〇年まで
- ヴァイオリンを長久手次郎先生に師事。令和〇年まで
- 県立長岩高等学校音楽科(器楽)に入学。
- 「24のカプリース」(N. Paganini)を学習。
- 日本ミュージック・サマースクールに参加。Longrock 氏の公開レッスンを受講。「ジャコンヌ」(G. B. Vitali)

### 作品・演奏

- 「〇△〇△〇」を作曲、演奏:長久手三郎、場所:長岩市民会館小ホール
- △△△△△作曲の「〇〇〇〇」を弦楽四重奏に編曲
- 長岩市ピアノ発表会にて「ピアノソナタ第11番」(W. A. Mozart)第一楽章を演奏
- 県立長岩高等学校音楽科発表会にて、イタリア歌曲3曲(編曲:三ヶ峯太郎)を演奏
- 「ヴァイオリン協奏曲第3番」(W. A. Mozart)を演奏、管弦楽:長岩市民管弦楽団、指揮:長久手次郎、場所:長岩市民会館

### 受賞、出版、放送

- ピアノ作品作曲コンクール入賞、ピアノのための「ABC」
- 吹奏楽のための「いろは」がCDに収録される。(SOVI:12345)
- 東海三県中学生ヴァイオリン・コンクール入賞。「調和の幻想第3番」(A. L. Vivaldi)第一楽章
- 中部高校生音楽コンクール第1位「ヴァイオリン協奏曲第3番」(W. A. Mozart)
- 長岩FMの「〇〇クラシック」に出演、「アヴェ・マリア」(F. P. Schubert)を演奏

### その他

- 私立長岩中学入学。音楽部に入部して合唱の伴奏を行なう。
- 長岩中学音楽部が合唱コンクールにて金賞を受賞。(伴奏者として出演)
- 県立長岩高等学校吹奏楽部にてHornを担当、木管五重奏でアンサンブル・コンクール(東海大会)に出演し金賞を受賞。
- 県立長岩高等学校生徒会長を務める。
- 英語検定2級取得。

## **6 出願・受験上の諸注意**

- (1) 出願書類に不備、記載もれがあるときは受理しません。
- (2) 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- (3) 本学での試験当日、本学受験票を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた者は、試験場に入れないこともありますから注意してください。
- (4) 受験票は、令和5年11月8日(水)以降に送付します。11月10日(金)までに本学受験票が到着しない場合は、入試課に照会してください。
- (5) 出願後、連絡先を変更したいときは、速やかに入試課まで書面(連絡先住所にフリガナをつけてください。)にて届け出てください。
- (6) 出願に際しての照会は、入試課まで電話でお問い合わせください。
- (7) 入学試験における提出物や作品は、本学の入試資料として本学発行の冊子やウェブサイトに掲載する場合があります。
- (8) 入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス感染症等)に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮頂いた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。体調管理については十分に注意してください。
- (9) 本選考は、対面で実施します。海外から来日し受験を検討している方は、日本へ入国・滞在できるか否かについて、出願前に必ずご自身で確認してください。入国できない場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

## **7 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について**

本学に入学を志願する者で、障がい等を有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

- (1) 申し出の時期  
令和5年9月7日(木)まで
- (2) 申し出の方法  
各自で相談申請書を作成し、入試課まで申し出てください。記載内容は以下のとおりです。  
①志望学部・専攻 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項  
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項  
なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。
- (3) 相談の時期  
令和5年10月5日(木)まで
- (4) 相談の方法  
相談申請書に医師の診断書(身体障害者手帳を有する者はその写し)、担当教員等の所見書(高等学校等での学習状況・生活状況を記載)を添えて出身高等学校等を通じて提出してください。  
必要に応じ、本学において志願者との面談等を行います。

## **8 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先**

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114  
愛知県立芸術大学 入試課  
電話 0561-76-2603 (直通) 照会時間は午前9時から午後5時まで  
メールアドレス admission\_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp  
ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

## 9 選 抜 方 法

### (1) 各専攻（コース）別選抜方法

#### 書類選考（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

専攻（コース）		選 抜 方 法
作曲	作 曲	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、調査書)及び提出作品3曲による審査を行なう。
声 楽		提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)による審査を行なう。
器楽	管打楽器	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)及び録画物による審査を行なう。

#### 本選考

専攻（コース）		選 抜 方 法
作曲	作 曲	実技試験、口述試験による審査を行なう。 ・ 1日目（実技試験、口述試験） 器楽曲作曲 3時間（ピアノ使用可） 与えられたモチーフを使用し器楽曲を作曲する。 口述試験 提出した3作品と器楽曲作曲作品の解説を中心とした口述試験。
	音楽学	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書、小論文)及び筆記試験、口述試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1日目（筆記試験、口述試験） 音楽学の基礎的能力試験 1時間 口述試験 提出した小論文に関する口述試験。 ・ 2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典
声 楽 ※		実技試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1日目（実技試験） 自由曲（演奏時間6分程度、複数曲可） ・ 2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ
器楽 ※	弦楽器	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)及び実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1日目（実技試験、面接試験） 課題曲 自由曲（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのみ） 面接試験 ・ 2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典
	管打楽器	実技試験及び面接試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1日目（実技試験、面接試験） 課題曲 面接試験 ・ 2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典

※音楽の基礎的能力試験及び声楽専攻、器楽専攻実技試験の課題曲については、15ページから21ページの【実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲】を参照してください。

## (2) 評価基準

書類選考（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

専攻（コース）		試験科目	評価基準
作曲	作曲	書類による審査（提出作品を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲の基礎能力や資質、創造力、探究心、発想力等をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
声楽		書類による審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>声楽を研究する意欲をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
器楽	管打楽器	書類による審査（録画物による審査を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>管打楽器を研究する意欲、基礎的な学力をみる。</li> <li>演奏能力をみる。</li> </ul>

## 本選考

専攻（コース）		試験科目	評価基準
作曲	作曲	器楽曲作曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲理論の基礎能力、構成力、発想力等をみる。</li> </ul>
		口述試験（提出作品に関する口述を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物の志向性や作曲を研究する意欲と基礎的能力をみる。</li> </ul>
	音楽学	音楽学の基礎的能力試験（英語力を試す出題を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽学の学習に必要な基礎的能力をみる。</li> </ul>
		口述試験（小論文に関する口述、提出書類を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽学の学習に必要な基礎的能力や、資質をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
声楽		自由曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>声楽家としての資質、表現力をみる。</li> </ul>
		音楽の基礎的能力試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の基礎的能力(ピアノ)をみる。</li> </ul>
器楽	弦楽器	課題曲及び自由曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏家としての資質、技術、表現力をみる。</li> </ul>
		面接試験（提出書類を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>弦楽器を研究する意欲をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
		音楽の基礎的能力試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の基礎的能力(ピアノ、ソルフェージュ、楽典)をみる。</li> </ul>
	管打楽器	課題曲及び面接試験（提出書類を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏に際しての表現力、創造力、技術力、基礎的能力をみる。</li> </ul>
音楽の基礎的能力試験		<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の基礎的能力(ピアノ、ソルフェージュ、楽典)をみる。</li> </ul>	

## (3) 点数配分

## 書類選考（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

専攻（コース）		試験科目	配点
作曲	作曲	書類による審査（提出作品を含む。）	100
声楽		書類による審査	
器楽	管打楽器	書類による審査（録画物による審査を含む。）	

## 本選考

専攻（コース）		試験科目	配点
作曲	作曲	器楽曲作曲	400
		口述試験（提出作品に関する口述を含む。）	600
			合計 1,000
	音楽学	音楽学の基礎的能力試験（英語力を試す出題を含む。）	300
口述試験（小論文に関する口述、提出書類を含む。）		500	
音楽の基礎的能力試験		200	
		合計 1,000	
声楽		自由曲	800
		音楽の基礎的能力試験	200
		合計 1,000	
器楽	弦楽器	課題曲及び自由曲	600
		面接試験（提出書類を含む。）	200
		音楽の基礎的能力試験	200
			合計 1,000
管打楽器	課題曲	700	
	面接試験（提出書類を含む。）	100	
	音楽の基礎的能力試験	200	
		合計 1,000	

## 10 試験日程及び合格発表

書類選考合格者発表（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

年月日及び時間	場 所	備 考
令和5年11月16日（木） 午前11時	本学管理棟で掲示します。 (注)	合格者には、「書類選考合格通知書」を、 不合格者には、「書類選考不合格通知書」 を本人あてに送付します。

### 本選考

専攻 (コース)	作 曲		声 楽	器 楽	
	作 曲	音 楽 学		弦 楽 器	管 打 楽 器
年月日					
令和5年 11月25日 (土)	9:30~12:30 器楽曲作曲  13:30~ 口述試験	9:30~10:30 音楽学の 基礎的能力試験 11:00~ 口述試験	10:00~ 自由曲	9:30~ 課題曲 自由曲 面接試験	9:30~ 課題曲 面接試験
令和5年 11月26日 (日)		9:30~ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ ェージュ、楽典)	9:30~ 音楽の 基礎的能力 試験 (ピアノ)	9:30~ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ ェージュ、楽典)	9:30~ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ ェージュ、楽典)

(注) 8ページ「6 出願・受験上の諸注意」を必ずご確認ください。

### 最終合格者発表

年月日及び時間	場 所	備 考
令和5年12月4日（月） 午前11時	本学管理棟で掲示します。 (注)	合格者には、入学許可通知書及び入学手 続要領（入学ガイド）を送付します。 推薦学校長には、合否結果を通知します。

(注) 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。本学ウェブサイトにて掲示内容の  
情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期してお  
りますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了  
承ください。

本学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



## 11 学校推薦型選抜・総合型選抜に不合格になった者の一般選抜への再出願について

学校推薦型選抜・総合型選抜に不合格になった者で、大学入学共通テストを受験した者は、本学  
又は他の国公立大学の個別学力検査を受験することができます。



## 12 入学手続

### (1) 期間

令和5年12月12日(火)から19日(火)まで(締切日消印有効)

※提出書類を「簡易書留速達郵便」により郵送してください。

※ただし、日本国外から郵送する場合は締切日午後5時必着とします。

### (2) 入学料及び保険料

286,660円

(内訳) 入学料 282,000円

学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償保険 保険料 4,660円(4年間分)

ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料及び保険料は、改定されることがあります。

イ 納付された入学料は返還しません。

### (3) 入学料及び保険料振込にあたってのお願い

ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、所定の提出書類と入学料及び保険料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。

イ 入学料の納入は、**金融機関の窓口**で行ってください。ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。

ウ 振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**合格者本人の氏名**で行ってください。

### (4) 入学手続の諸注意

ア 入学手続を完了しない場合は、**入学を辞退**したものとして取り扱います。

イ その他入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。

ウ 日本国籍以外の方は、上記の他、在留カードの写し(両面)を入学手続日までに提出してください。

エ 学校型推薦選抜・総合型選抜合格者で入学手続きを完了した者は、他の国公立大学の一般選抜に出願し、受験しても合格者にはなりません。

オ 入学手続を完了した者であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和6年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

## 13 授業料

年額 535,800円 (前期・後期各267,900円。前期分は4月、後期分は10月に徴収します。)

授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、授業料は改定されることがあります。

## 14 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について

### (1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

イ 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けた(※1)ことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者

ウ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養(※2)、会社の倒産・解雇等による失業(※3)又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

※1:市町村長等から「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づく「全壊」、「大規模半壊」及び「半壊」のいずれの認定を受けたことをいう。

※2:入院する必要があることをいう。

※3:会社の倒産・解雇等による失職のことをいう。定年や自己都合による退職はこれに含まない。

問合せ期限	令和5年10月6日(金)
-------	--------------

## (2) 入学料の還付

高等教育の修学支援新制度において、支援の対象者となっている学生へ入学後、支援区分に応じて入学料の一部若しくは全額を還付します。※入学料は必ず全額納付してください。

## (3) 授業料の免除

### ○日本人学生

高等教育の修学支援新制度において、支援の対象者となっている学生へ、支援区分に応じて授業料の一部若しくは全部について免除します。

### ○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細は、入学後に本学ポータルサイトをご確認ください。

※内容については、今後変更する可能性があります。

### 問合せ先

学務部学務課 メールアドレス g-shien@mail.aichi-fam-u.ac.jp

## 15 入試結果の閲覧

愛知県個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、口頭により受験者本人が自己の入試結果の閲覧を求めることができます。

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 閲覧できる範囲    | 科目別得点  |
| (2) 閲覧できる期間    | 令和5年12月4日(月)合格発表時刻から令和6年1月4日(木)まで<br>午前9時から午後5時まで<br>土・日曜日、祝日等の休業日は除く。 |
| (3) 閲覧の受付窓口    | 本学管理棟3階 芸大総務課<br>受験者本人が、口頭で本学芸大総務課に申し出てください。                           |
| (4) 閲覧の方法      | 本人部分のみ閲覧   |
| (5) 閲覧に必要な書類   | 受験票と、身分証明書(運転免許証、健康保険証またはパスポート<br>その他官公署の発行する証明書等のうちいずれか)              |
| (6) その他        | 電話、E-mail等による成績の問い合わせには応じません。  |
| (7) 閲覧に関する問合せ先 | 芸大総務課 電話 0561-76-2408(直通)  |

### 入試結果の情報提供

受験者本人の申し出に限り、郵送による成績の情報提供を行います。  
申込方法及び申請書など、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

## 16 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

### (1) 利用目的について

出願にあたって提出された氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜並びに必要な応じ入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務において利用します。

なお、国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名・受験番号・可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に使用します。

### (2) 第三者への個人情報の提供

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

## ■実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲

### 1. 実技試験課題曲

#### I. 声楽専攻

演奏時間 6 分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になっても構いませんが、演奏時間の合計が 6 分程度になるようにしてください。5 分未満の場合は失格になることがあります。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することがあります。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

#### II. 器楽専攻（弦楽器コース）

器楽専攻弦楽器コース 共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの課題曲 (b) については番号を、ヴァイオリン、ヴィオラの課題曲 (c) については曲名を、自由曲については作曲者名と曲名を、弦楽器提出用紙に**欧文で記入**してください。

##### ○ヴァイオリン

- (1) 課題曲
  - (a) Carl Flesch: Scale System より E-dur  
No. 5 全部、No. 6 (1~4 小節)、No. 7 (1~4 小節)、No. 8 (1~4 小節)  
リズムとスラーは C-dur に準じます。（重音は 8 つずつのスラー）
  - (b) N. Paganini: 24 Capricci Op. 1 より任意の 1 曲。
  - (c) 下記 2 曲のうち 1 曲を選択して演奏してください。  
J. S. Bach: Partita für Violine solo Nr. 1 BWV1002 より Sarabanda  
(Double は含まない)  
J. S. Bach: Sonate für Violine solo Nr. 2 BWV1003 より Grave
- (2) 自由曲  
古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

##### ○ヴィオラ

- (1) 課題曲
  - (a) Carl Flesch: Scale System より任意の調  
No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。
  - (b) B. Campagnoli: 41 Caprices Op. 22 より任意の 1 曲
  - (c) J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello solo より BWV1007~1009 の任意の楽章。
- (2) 自由曲  
古典派の任意の協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

## ○チェロ

### (1) 課題曲

#### (a) J. Loeb: Gammes et Arpèges より D-dur

4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を4つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを3つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を2つずつスラーで。

#### (b) J. L. Duport: Studies for Cello より任意の1曲

### (2) 自由曲

古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第1楽章。カデンツァを含みます。

## ○コントラバス

弦楽器提出用紙の楽器借用希望欄の希望の有無に○を付けてください。

### (1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

#### (a) 音階 G-dur 2オクターブ 譜例参照

譜例

The image shows a musical score for double bass in G major, 2 octaves. It consists of five staves of music. The first staff is in common time (C) and shows the beginning of the scale with a fermata over the final note. The second and third staves continue the scale with various articulations like slurs and accents. The fourth staff changes to 6/8 time and features slurred eighth notes. The fifth staff continues the scale in 6/8 time, ending with a fermata.

#### (b) J. Hrabě: 86 Etüden より Nr. 7

### (2) 任意の自由曲

## ○ハープ

ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

### (1) 課題曲

#### (a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes pour la Harpe

Cinquante Etudes Op. 34 2<sup>ème</sup> Livre より No. 39 と No. 40

#### (b) G. F. Handel: Harp Concerto in B flat major Op. 4 No. 6 HWV294

全楽章 (Grandjany 版)

### (2) 自由曲はありません。

### Ⅲ. 器楽専攻（管打楽器コース）

伴奏者は本学で用意します。演奏の直前に伴奏者と 30 秒程度の打ち合わせができます。

#### ○フルート

- (1) A. B. Fürstenau: 24 Studies (Bouquet des Tons) Op. 125 より  
No. 10, 13 から当日指定します。
  - (2) W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第 1、第 2 楽章  
両楽章ともにカデンツァなし。演奏範囲は、当日指定します。
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

#### ○オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling: 48 Etudes Op. 31 より No. 1～18  
G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass TWV40: 2-13 より No. 2, 3, 6
  - (2) W. A. Mozart: Oboe Concerto in C K. 314 より第 1 楽章（カデンツァ無し）
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

#### ○クラリネット

- (1) E. Cavallini: 30 Capricci per Clarinetto (Ricordi 版) より  
No. 19, 22 から当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。
  - (2) E. Bozza: Fantasie Italienne pour Clarinette et Piano (Leduc 版)
- (1)、(2)いずれも暗譜の必要はありません。

#### ○ファゴット（バスーン）

- (1) J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 vol. 2 より  
No. 20, 21, 23, 29 の中から 2 曲を当日指定します。
  - (2) G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 第 1、第 2 楽章  
繰り返しなしで演奏してください。
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

#### ○サクソフォーン

- (1) 音階  
譜例の形の音階を各調（♭は 6 つ、♯は 5 つまで）より当日指定します。  
テンポは 4 分音符 = ca. 100 とし、アーティキュレーションは、当日指定します。

譜例



- (2) W. Ferling: 48 Etudes より  
No. 5 と 6、No. 11 と 12、No. 13 と 14、No. 17 と 18、No. 19 と 20、No. 25 と 26、  
No. 27 と 28、No. 29 と 30、No. 31 と 32 のいずれかを当日指定します。  
版の指定はしません。
  - (3) Roger Boutry: Divertiment pour Saxophone Alto et Orchestre a Cordes ou Piano (Leduc 版)
- (1)は暗譜で演奏してください。(2)、(3)は暗譜の必要はありません。

### ○ホルン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。  
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 K. 495 (Bärenreiter 版) より  
第1楽章 カデンツァなし  
暗譜の必要はありません。

### ○トランペット

- (1) 音階 J. B. Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)  
65～81 ページの 4、19、25、31、38、42、43、44、47、53、59、65、70～81 の中より  
当日指定します。暗譜の必要はありません。
- (2) T. Charlier: Solo de Concours (Schott 版)  
暗譜の必要はありません。

### ○トロンボーン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。  
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の選択課題曲 5 曲より 1 曲を選択し、演奏して下さい。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。演奏を途中でカットする場合があります。暗譜の必要はありません。
  - ① F. David: Concertino in Eb Op. 4 より第1楽章、第2楽章 (Zimmermann 版)
  - ② E. Sachse: Concertino in Bb (International Music Company 版)
  - ③ E. Paudert: Berühmte Arie (Simrock 版)
  - ④ E. Bozza: Ballade Op. 62 (Leduc 版)
  - ⑤ J. G. Ropartz: Pièce en Mi-Bémol Mineur (Leduc 版)

### ○バストロンボーン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。  
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の選択課題曲 5 曲より 1 曲を選択し、演奏して下さい。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。演奏を途中でカットする場合があります。暗譜の必要はありません。
  - ① F. David: Concerto (Concertino) in Bb for Bass Trombone より第1楽章、第2楽章  
(Zimmermann 版)
  - ② E. Sachse: Concerto (Concertino) in F for Bass Trombone (Zimmermann 版)
  - ③ Alexey Lebedev: Concerto No. 1 (Hofmeister 版)
  - ④ E. Bozza: New Orleans (Leduc 版)
  - ⑤ G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 (International Music Company 版)

## ○ユーフォニアム

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。  
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) J. Demersseman: Grande fantaisie sur Don Juan de W. A. Mozart (Billaudot 版)  
繰り返しなしで演奏してください。暗譜の必要はありません。

## ○チューバ

C 管か B♭ 管を使用してください。

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。  
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) Alexey Lebedev: Concerto No. 1 for Tuba and Orchestra (Hofmeister 版)  
暗譜の必要はありません。

## ○パーカッション

スネアドラム及びスタンドは各自持参したものを、ティンパニ及びマリimbaは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットする場合があります。全ての楽譜は各自が用意してください。全て暗譜の必要はありません。

### スネアドラム

- (1) All-American Drummer (Ludwig Masters 版) より  
Wilcoxon's 132<sup>nd</sup>  
繰り返しなしで演奏してください。
- (2) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (Hofmeister 版) より 25 番

### ティンパニ

- (1) G. F. Händel: Der Messias HWV56 より Hallelujah (ピアノ伴奏付き)  
ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419)を使用

### マリimba

- (1) Morris Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone  
Musical Interpretations and Editing by Anthony J. Cirone (Alfred 版) より  
39 ETUDES V (繰り返しなし)

## ○マリimba

スネアドラム及びスタンドは各自持参したものを、マリimbaは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットする場合があります。

### スネアドラム

- (1) [楽譜④] (次ページ参照) を演奏してください。暗譜の必要はありません。





## 2. 音楽の基礎的能力試験

### ・ピアノ

作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

音階：Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。

### ・ソルフェージュ

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

#### 新曲視唱

歌詞を伴わない初見視唱1題

#### 聴音

単旋律課題1題

4声体和声課題1題 (器楽専攻弦楽器コースのみ)

### ・楽典

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

所要時間は40分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般

■令和5年度学校推薦型選抜・総合型選抜 試験実施状況

専攻(コース)		募集人員	志願者数	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	入学者数
作曲	作曲	若干名	5	5	5	1	1
	音楽学	若干名	1	1	—	0	0
声楽		若干名	15	15	15	4	4
器楽	弦楽器	若干名	6	6	—	2	2
	管打楽器	若干名	29	29	29	3	3
計		—	56	56	49	10	10

■令和5年度学校推薦型選抜・総合型選抜 試験問題

I. 器楽曲作曲 (作曲専攻作曲コース)

次の2つのモチーフのうち、どちらかをうい器楽曲を作曲しなさい。  
テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。



☆注1



☆注2

☆注1 スラーの設定は自由。

☆注2 最後の音符の長さは自由。

II. 音楽学の基礎的能力試験 (作曲専攻音楽学コース)

【試験問題】

1. 全文を訳してください。

(英文省略) ※

出典：Joseph Kerman and Gary Tomlinson. *Listen*. 6th Edition. Boston: Bedford/St. Martin's, 2008.

2. 古典派について、この文章から分かることを簡潔にまとめてください。

【出題の意図】

学部における音楽学研究に必要な、語学の能力および理解力を備えているかを問う。

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。

(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)

Ⅲ. 楽典（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

【試験問題】

（譜例省略※）

別紙の譜例は《Bachianas Brasileiras No.5 W389》より Aria の冒頭 14 小節までの楽譜です。この譜例をみて、以下の各問に答えなさい。（なお譜例は試験問題に適するよう、原譜より一部変更しています）

問 1. **A~C** の音程を答えなさい。（例：「短3」度。なお複音程は単音程として答えること）

問 2. **A~C** のうち、転回音程の関係にあたるものと異名同音程にあたるものをすべて答えなさい。（例：「ウとカ」）

問 3. **い~ほ** の和音または分散和音について、その種類（例：「長三和音」）と転回形（例：「第1 転回形」）を答えなさい。

問 4. **α~γ** の非和声音（和音外音）について、その種類を答えなさい。

問 5. **X** の音に完全4 度上の音を繰り返し6 回重ねると得られる音塊（x も含む7 つの音）はある長音階の構成音と同じである。その調からみた平行調の属調はこの譜例で示されている **A~E** のどの部分か答えなさい。

問 6. **X** の音を第5 倍音とする基音を主音とする長音階の上行形を、加線を用いずに書くことができる適切な譜表に主音から主音まで全音符で書きなさい。必要な場合は臨時記号でなく、調号を書き加えること。

問 7. **Y** の部分を階名で歌う場合つぎのどれが適切か数字で答えなさい。

- ①ミ・ファ・ソ・ファ・ミ・レ・ド・レ      ②レ・ミ・ファ・ミ・レ・ド・シ・ド  
 ③ファ・ソ・ラ・ソ・ファ・ミ・レ・ミ      ④ソ・ラ・シ・ラ・ソ・ファ・ミ・ファ

問 8. **Z** の楽語について、その意味を答えなさい。また省略しない形で正しい綴りを書きなさい。

問 9. 左下の表は 2021 年 6 月末の、愛知県における外国人住民数の国籍別内訳であり、譜例の楽曲を作曲した人物の国籍はこの表に含まれている。その国名を答えなさい。また、その作曲家の名前を右下から選んで数字で答えなさい。

国籍（出身地）	住民数	割合
ブラジル	59,536人	22.1%
中国	46,454人	17.2%
ベトナム	44,422人	16.5%
フィリピン	38,965人	14.4%
韓国・朝鮮	29,949人	11.1%
ネパール	8,496人	3.2%
ペルー	7,699人	2.9%
その他	34,164人	12.7%
総数	269,685人	

- ①ユン・イサン      ②ヴィラ = ロボス  
 ③アルベルト・ヒナステラ      ④ホセ・マセダ  
 ⑤タン・ドゥン      ⑥エンリケ・グラナドス

問 10. 譜例の楽曲は題名を日本語に翻訳すると、「○風△」という。○には問 9 で答えた国名が入り、△にはある作曲家の名前が入る、△の作曲家が書いた曲として正しいものを以下より選び、数字で答えなさい。

- ①「光州よ、永遠に」 ②「フランス組曲」 ③「ウドロ・ウドロ」 ④「コンドルは飛んでいく」

※本学管理棟 3 階 入試課において閲覧できます。（閲覧時間 平日午前 9 時から午後 5 時まで）

[解答]

問1.

ア	長6度	イ	減4度	ウ	増2度	エ	増1度	オ	長2度
カ	減7度	キ	完全1度	ク	長3度	ケ	短6度	コ	短7度

問2.

転回音程    ウとカ    オとコ    クとケ    異名同音程    イとク    アとカ

問3.

い	種類	短三和音	ろ	種類	長三和音	は	種類	属七の和音
	転回形	第1転回形		転回形	基本形		転回形	基本形

に	種類	減七の和音	ほ	種類	短七の和音
	転回形	第1転回形		転回形	第3転回形

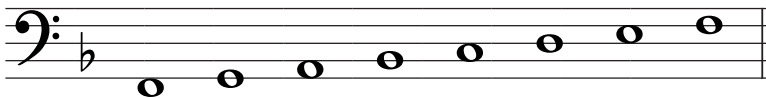
問4.

$\alpha$	逸音	$\beta$	刺繍音 隣接音	$\gamma$	経過音
----------	----	---------	------------	----------	-----

問5.

\_\_\_\_\_ C \_\_\_\_\_

問6.



問7.

\_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_

問8.

意味    次第に遅く、音量を強く    正しい綴り    allargando

問9.

国名    ブラジル    作曲家    ②

問10.

\_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_

## IV. 聴音

## ・旋律（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

## ・四声（器楽専攻弦楽器コース）

（最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

V. 新曲視唱 (作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース)

(予見時間は1分30秒。主和音及び開始音を与える。)

**alla siciliana**

The musical score is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 6/8 time signature. It consists of three staves of music. The first staff begins with a piano (*p*) dynamic and includes two *poco* markings. The second staff starts with a forte (*f*) dynamic, followed by a mezzo-piano (*mp*) dynamic, and ends with fortissimo (*ff*) and forte (*f*) dynamics. The third staff begins with mezzo-forte (*mf*) and *sub. p* (sub-piano) dynamics, and concludes with mezzo-piano (*mp*) and piano (*p*) dynamics. The score includes various musical notations such as slurs, accents, and dynamic hairpins.

## 令和7年度入試変更点の予告

令和7年度入試からの変更点を予告します。今年度入試ではありませんのでご注意ください。

### 1. 令和7（2025）年度入学者選抜より、音楽学部声楽専攻において 学校推薦型選抜を廃止し、総合型選抜を実施します

#### 1 趣旨

声楽専攻では、演奏により社会に貢献できる人材を、さまざまなバックグラウンドを持った人々の中から発掘することを目的とし、従来実施してきた学校推薦型選抜に代えて、より出願資格の幅を拡げた総合型選抜を実施します。

#### 2 アドミッションポリシー

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力…学ぶ上で大切にしたいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力して下さい。
- 音楽の基礎的能力…基礎的な読譜力と、ピアノの演奏能力を身につけてきて下さい。また音楽についての知識を積極的に吸収するよう心がけて下さい。
- 基礎的な学力、語学力…歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけて下さい。

入学試験の基本的な方針・考え方

【総合型選抜】

- ・書類選考（自己アピール文、音楽活動記録書、調査書）の後、本選考（専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験）の結果にて合否を判定します。

#### 3 募集人員

若干名（入学定員30名の中に含まれます。）

#### 4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13

号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

## 5 出願書類

- (1) 1000字程度の「自己アピール文」(様式自由)
- (2) 音楽活動記録書(本学所定様式に記載)
- (3) 調査書

指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。

①卒業証明書、②成績証明書または単位修得証明書等(発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」)を提出してください。

- (4) 演奏曲目提出用紙(本学所定様式に記載)
- (5) 伴奏用楽譜

## 6 選抜方法及び点数配分

2段階選考を行います。

- (1) 書類選考

提出書類(自己アピール文、音楽活動記録書、調査書)による審査を行います。

- (2) 本選考

専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行います。

1日目

専攻実技試験：自由曲(演奏時間6分程度、複数曲可)

面接試験

2日目

音楽の基礎的能力試験：ピアノ

(ただし、出願者数によっては、面接試験の一部を2日目に実施する場合があります。)

- (3) 点数配分

書類選考		本選考			
書類による審査	計	専攻実技試験	面接試験	音楽の基礎的能力試験	計
100点	100点	800点	100点	100点	1,000点

## 2. 令和7(2025)年度入学者選抜より、音楽学部器楽専攻弦楽器コースにおける学校推薦型選抜の試験内容を変更します。

### 変更内容

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロにおいて、「初見視奏」を新たに課します。

※本学ウェブサイトにて令和5年2月1日付公表の内容と同じです。

※その他詳細は、『令和7年度音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜 学生募集要項』にて公表します(令和6年7月下旬公表予定)。

※今後生じる令和7年度入試変更については、本学ウェブサイト「お知らせ」にて公表しますので、必ずご確認ください。



## 入学願書等記入上の注意

- 1 願書はコンピュータ処理をしますので、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 2 必ず黒のボールペンを使用してください。
- 3 楷書で丁寧に枠内へ記入してください。（絶対に枠外へはみ出さないでください。）
- 4 氏名欄の小さい枠は文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入してください。氏名欄の大きい枠及びその他の枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

タイカク
10-1
ダイガク

- 5 記入ミスをしたときは、誤記した文字に二重線を引き、その上の空欄に正しい文字等を記入してください。

2 3  
0132

- 6 記入例

0123456789

次の点には、注意してください。

- ・ 文字に飾りをつけない
- ・ 適度な大きさで
- ・ 濃すぎず薄すぎず

~~×~~ 179 → ○ 179  
~~×~~ 179 → ○ 179  
~~×~~ 179 → ○ 179

文字記入例

英字 **A B C D E F G H I J K L M**  
**N O P Q R S T U V W X Y Z**

数字 **0 1 2 3 4 5 6 7 8 9**

カナ **アイウエオカキクケコサシス**  
**セソタチツテトナニヌネノハ**  
**ヒフヘホマミムメモヤユヨラ**  
**リルレロワン°゛**

## 各項目の記入方法等

### 入学願書

- 1 左上の□□□□□□□は、何も記入しないでください。
- 2 試験区分欄  
受験する試験区分上にあるYを、□の中へ記入してください。
- 3 試験場コード欄  
大学入学共通テスト受験番号欄  
発行回数欄  
以上については、何も記入しないでください。

4 大学入学共通テスト成績請求票貼付欄

**大学入学共通テストは課さないのので、貼付する必要はありません。**

5 美術学部・音楽学部欄

美術学部欄の□は空欄のまま記入しないでください。

音楽学部欄の□に専攻の前の数字を記入してください。

また、作曲専攻（音楽学）を希望する者は、語学の選択は不要です（空欄としてください）。

器楽専攻（弦楽器・管打楽器）を希望する者は、楽器種別の前の**数字**を記入してください。

6 高等学校等コード欄

(1) □□□□□□に高等学校等のコード番号と高等学校名を記入してください。コード番号は、大学入学共通テストの受験案内を参照してください。（高等学校名は、国立○○高等学校、○○県立○○高等学校又は私立○○高等学校等と記入してください。）

(2) 課程の□に1、2、3のいずれかを記入してください。

7 卒業（見込）年月欄

記入例どおり記入してください。なお、高校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込のものは、取得（見込）年月日を記載してください。

【例】

1：昭和 2：平成	3：令和	卒業(見込)年月
3	06	年 03 月

8 氏名欄

(1) 上段の小さい枠の□にはカタカナで、下段の大きい枠の□には漢字で記入し、性別横の□に男性は1、女性は2を記入してください。

(2) 上段の小さい枠は、文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入し、下段の大きい枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

(3) **姓と名の間は1枠あけて**記入してください。

注1：日本国内に居住し、氏名を漢字で表記する外国人で、通称名を用いている場合はその通称名を記入してください。以下、氏名記入欄は、同様の方法で記入してください。

注2：氏名を漢字以外で表記している外国人は、ファミリーネーム（姓）を先に、ファーストネーム（名）を後にし、カタカナで記入してください。

9 生年月日欄

(1) 一番左の□に年号を示す数字の1又は2を記入してください。

(2) 年月日は、それぞれ2桁の数字で記入してください。

（1桁の場合は、0を先に記入してください。）

(3) 年は、西暦で記入せず、和暦で記入してください。

記入にあたっては、次の例を参考に年月日を記入してください。

【例】平成18年1月8日生まれの場合

1：昭和 2：平成	生 年 月 日
2	18 年 01 月 08 日

## 10 住所欄

郵便番号、電話番号及び住所を□内に1字ずつ記入してください。

なお、郵便番号及び電話番号は、ハイフンを使用せず数字のみ記入し、住所の丁目、番地、号はハイフンを使用してください。また、電話番号は左詰めで記入してください。

また、050で始まるIP電話番号は記入しないでください。

(1) 緊急時の連絡先は、ご本人又はご家族の携帯電話番号など、左の連絡先電話番号と異なる番号を必ずご記入ください。

(2) 住所は、確実に連絡を受けられる住所を都道府県から記入してください。また、団地・マンション等に居住している者は、棟番号・戸番まで必ず記入し、下宿の場合は、〇〇方と記入してください。

なお、住所の変更があった場合は速やかに郵便で愛知県立芸術大学入試課へ送付してください。

## 受験票及び受験者写真票

- 1 氏名、ふりがな、志望学部、専攻（作曲、声楽、器楽のいずれか）を記入してください。
- 2 区分欄（ ）へは、作曲専攻志望者は作曲、音楽学のいずれかを、声楽専攻志望者は声種別（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト等）を、器楽専攻志望者は楽器種別を記入してください。
- 3 写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身・脱帽・縦4cm×横3cm、裏面に氏名・志望専攻及びコースを記入。）を所定の位置に貼ってください。

（記入例）

・声楽専攻

区分（ソプラノ）、区分（テノール）

・器楽専攻弦楽器コース

区分（ヴァイオリン）、区分（コントラバス）

・器楽専攻管打楽器コース

区分（フルート）、区分（ホルン）、区分（パーカッション）など

## 入学検定料納付証明書貼付票

氏名、ふりがなを記入し、検定料納付証明書を貼付欄内にのり付けしてください。

# 入学願書記入例

(記入例は器楽専攻弦楽器コース)

・ Y を記入する。

・ 記入しない。

・ 貼付しない。

大学入学共通テスト成績請求票 貼付欄

・ 該当する数字を記入する。

・ 都道府県から記入する。その際、文字と半濁点をあわせて一枠で記入する。郵便番号及び電話番号はハイフンを使用せず数字のみ記入する。

・ 記入しない。

※ ~~11111111~~ 令和6年度 愛知県立芸術大学入学願書

試験区分	G 一般選抜	試験場コード	888888					
	W 社会人特別選抜		美術					
美術学部	Z 総合型選抜	美術	大学入学共通テスト受験番号	111111				
	Y 学校推薦型選抜	音楽	発行回数	8				
音楽学部	1 日本画	1 作曲 (作曲)	6	2 作曲 (音楽学)	21	21 ヴァイオリン	31	フルート
	2 油画	2 声楽 (女声)	21	3 声楽 (男声)	22	22 ヴァイオラ	32	オーボエ
高等学校コード	3 彫刻	3 声楽 (男声)	21	4 声楽 (男声)	23	23 チェロ	33	クラリネット
	4 芸術学	5 器楽 (ピアノ)	21	6 器楽 (弦楽器)	24	24 コントラバス	34	ファゴット (バスーン)
課程	5 デザイン	6 器楽 (管打楽器)	21	7 器楽 (管打楽器)	25	25 ハープ	35	サクソフォーン
	6 陶磁	1 全日制	1	2 定時制	3	3 令和	36	ホルン
卒業(見込)年月	7 メディア映像	3 通信制	3	1: 昭和	3	3 平成	37	トランペット
	8 色彩	1 と記入	06	2: 平成	06	03	38	トロンボーン
氏名	9 立体	学校名: 愛知県立岩作高等学校	03	卒業(見込)年月	03	03	39	バストロンボーン
	1 と記入		03	1: 昭和	03	03	40	ユーフォニアム
住所	〒	4801194	TEL	05616211808	緊急時の連絡先	TEL(090)1234-5678	41	テューバ
	愛知県長久手市	岩作三ヶ峯1-1-4	218	2: 平成	01	08	42	パーカッション
住所	岩作三ヶ峯1-1-4	コーポ三ヶ峯1-201	01	01	08	08	43	マリimba
	マンション/ビル名/号室							

切りはなさないでください

令和6年度

⑥ 入学検定料納付証明書貼付欄

※ 受験番号	(記入しない)
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子

1 検定料納付証明書を、この欄に貼り付けること。  
2 入学検定料は必ず金融機関の窓口から送金すること。ATMからは送金しないでください。

写真貼付欄 (4cm×3cm)  
正面、上半身、脱帽  
出願前3ヶ月以内に撮影したものをこの枠内に正しく貼ること。

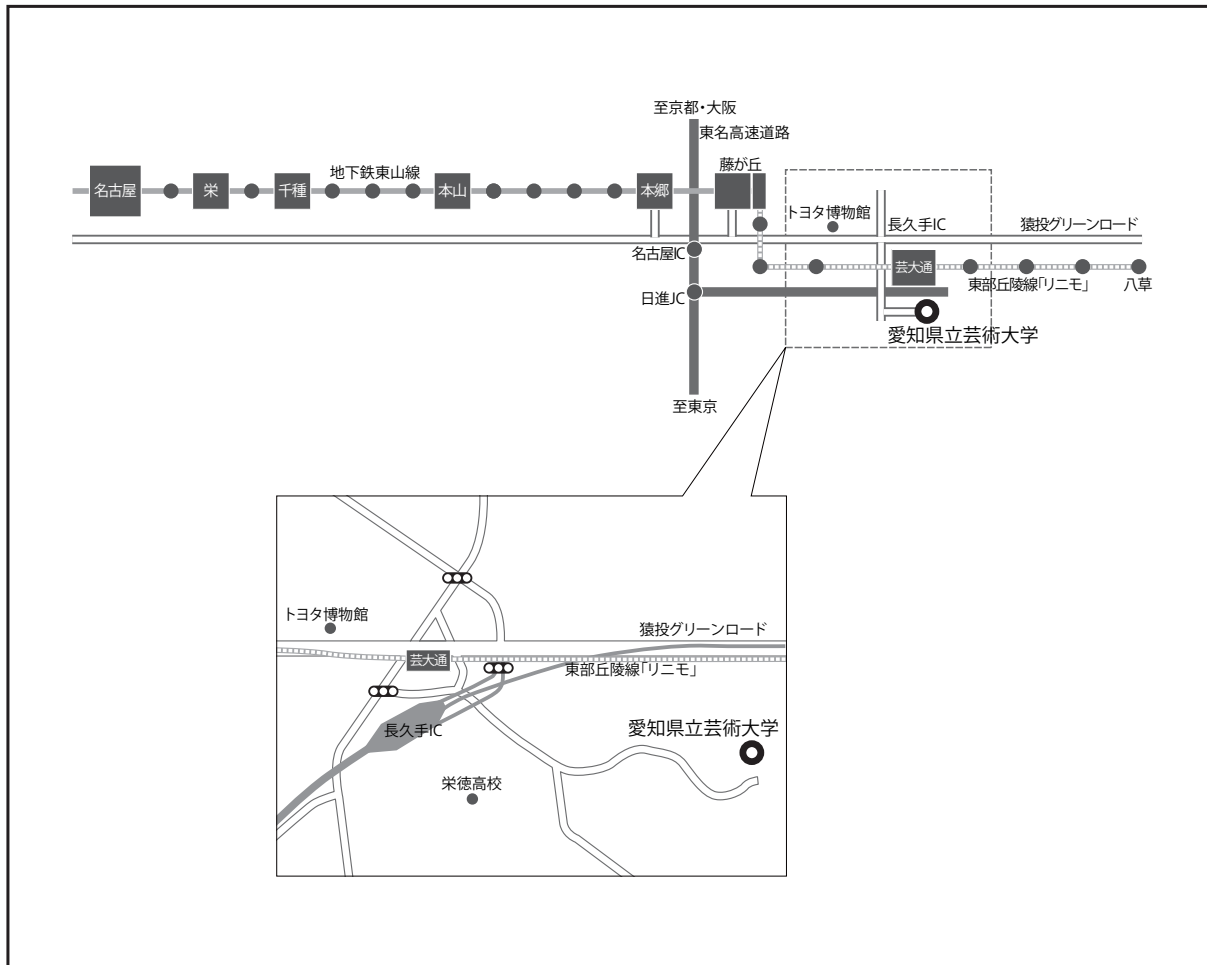
※ 受験番号	(記入しない)
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	(ヴァイオリン)

試験日には、必ず受験票を持参すること。  
※一般選抜の受験者は、本受験票に加え、**大学入学共通テスト受験票**も持参すること。

[問い合わせ先]  
愛知県立芸術大学 入試課  
480-1194  
愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114  
0561-76-2603

(注) ※印欄は、記入しないこと。

# 所在地案内図



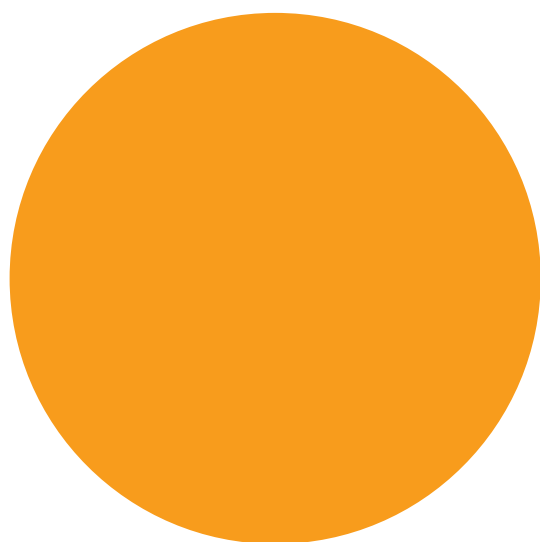
## ■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

## ■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）



## 愛知県立芸術大学

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課  
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114  
TEL 0561-76-2603(入試課直通)

愛知県立芸術大学ウェブサイトURL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

